



# 区長コラム ずっと もっと めぐる

目黒区長 青木英二

皆さん、こんにちは。区長の青木英二です。  
 今年の夏も、世界的に異常気象や自然災害などが相次いでいます。7月の終わりには、世界の月間平均気温(7月)が過去最高を更新する見通しになったことを受け、国連のアントニオ・グテーレス事務総長が「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と警鐘を鳴らすとともに、各国に気候変動対策の強化を求めたという報道がありました。  
 また、日本では、台風6号、7号などにより沖縄地方や西日本などで大きな被害が発生したほか、世界に目を向けますと、ハワイやカナダ、ヨーロッパなど、各地で大規模な山火事が頻発しました。被害を受けられた皆さんに対しまして、心からお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。  
 区報9月1日号の特集は、関東大震災の発生から100年が経過したことから、首都直下地震です。今回の区報は、東京23区の広報紙が連携し、関東大震災から100年という節目を機に広く防災について呼び掛けています。他区の広報紙を目にする機会は多くないかもしれませんが、勤務先やお出かけ先の自治体の広報紙、あるいはウェブサイトなどでご覧いただくことで、多様な防災情報に触れることができると思いますので、ぜひ、ご覧になってみてください。ご承知のかたも多いと思いますが、関東大震災の発生時刻はお昼

時であったため、火災による被害が甚大となりました。地震をはじめとして、自然災害が発生するタイミングは、私たちの都合に合わせてはくれません。記事では、いろいろな時間帯や場所で地震が起きたときに、どのように行動すれば良いのかを示しています。この記事を引きかけとして、さまざまな可能性やシーンを想定しながら事前のシミュレーションを行い、いざというその時に備えていただければと思います。  
 最後にご案内となりますが、9月の2日と3日、目黒区総合防災訓練を開催いたします。  
 既に事前申し込みは締め切られていますが、9月2日には、区で初開催となるオンライン防災訓練を行います。これまで、なかなか防災訓練に参加することが難しかった若年層やファミリー世帯の皆さんにもご参加いただき、Zoomのアプリを通じて、「防災謎とき」や「災害備蓄品ミッション」などのプログラムを通じて、防災の知識を身につけていただくことができます。  
 3日には、めぐる防災フェスタが10時から13時まで、区立第一中学校(大橋2丁目)で開催されます。入場無料で、防災にまつわるさまざまな展示や体験コーナーがあるほか、自衛隊の炊事車を活用したカレーの炊き出しも先着400名様分用意してあります。こちらも、ふるって足をお運びください。

## 写真でつづるまちの記憶 目黒アーカイブ フォトギャラリー

その5  
復興の  
息吹

目黒のまちの移り変わりを振り返るシリーズ。5回目は戦後まもない昭和20年代期の一コマを紹介します。

問広報課 ☎5722-9486、☎5722-8674

写真出典：「目黒区のおゆみ～写真でたどる区政の変遷」「あの日この顔～私たちのふるさと目黒の歩み」「昭和の戦争記録～目黒区民の体験で綴る」

### 昭和20年、終戦

昭和20年8月15日、敗戦を知らせる玉音放送が、長かった戦争の終わりを告げました。そして、疎開先や戦地から、多くの住人が目黒へと戻ってきました。そうした人々が目を見張ったのが、ふるさと目黒の惨状でした。区内面積の約30%が空襲の被害を受けていたのです。



▲戦争中の昭和20年5月の中目黒駅付近。空襲で多くの建物が被害を受けた



▲外地からの帰還を品川駅で出迎える人々

### 昭和21年、戦後の混乱から立ち上がる

辺り一面の焼け野原。しかし、次第に焼け跡にバラック(\*)が立ち並び、赤ん坊の声も聞こえるようになります。目黒の再建が始まりました。そこには、たくましく生きようとする人々の姿がありました。 \*空き地や災害後の焼け跡などに建設される仮設の建築物



▲焼け跡に建てられた急造のバラック



▲昭和21年の自由が丘駅前のヤミ市。生活は苦しいものの、訪れた平和な様子が感じられる